

官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	官民共創の新しいまちづくり協議会 ワーキンググループ全体会		
開催日	2024年11月21日(木)		
開催時間	開会	18:00	閉会 19:50
開催場所	伊那市役所 5階 501/502 会議室		
出席者			
協議会・WGメンバー	三澤俊明氏、平賀研也氏、平賀裕子氏、田畑和輝氏、黒河内貴氏、高橋明星氏、須永次郎氏、笠井成樹氏、北原俊文氏、山本風音氏、須永理葉氏、吉岡秀幸氏、大塚純氏、志知貴文氏、鈴木孝之氏、政金裕太氏、土田智氏		
事務局・職員	白鳥市長、伊藤副市長 企画部：飯島部長、田中地域創造課長、有賀企画政策課長補佐、村田新産業技術推進係長、浦野地域ブランド推進係長、飯島まちづくり推進係長、福原、政金 商工観光部：柴商工振興課長、林商工振興課長補佐 建設部：橋爪部長、柴田参事、原都市整備課長 教育委員会：三澤次長、伊藤学校教育課長補佐		
関係者	伊那市社会福祉協議会：矢澤秀樹業務課長 上伊那地域振興局：杉本佳那子主事		
欠席者	志知貴文氏、細谷啓太氏、瀧内貢氏、企画部：織井企画政策課長、商工観光部：重盛部長、建設部：辰ノ口伊那北駅周辺整備課長、教育委員会：唐澤学校教育課長		
議事	1、市長あいさつ 2、ワーキンググループ全体会 3、事務局より連絡 4、今後の進め方について 5、WG別MTG 6、今後のスケジュール		

議事項目	概要	次のステップ
1、市長あいさつ		
	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリフェスについて ・新しいまちづくり協議会の次のフェーズ、対話・つながり・実現の場への移行 ・福祉の視点も重要であることから、社会福祉協議会の矢澤さんに本日よりご参加いただいている。 ・伊那市のまちづくりのこの取組みが他地域からも非常に注目を受けている。これからの日本の地方都市とあり方についても大きな形を示すことができている。 	
2、ワーキンググループ全体会		
(1) ワーキンググループの進捗共有		
ア、伊那北駅周辺再生 WG		

<p>課題設定について</p> <p>市の意思決定と対話の場のスケジュールは整理できているのか。</p> <p>優良建築物等整備事業について</p>	<p>内でも丁寧にコミュニケーションを取りながら、お互いの背景や意思疎通を重要視していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果的に、今現在、WGメンバーの頭のリソースをちゃんとこう集中して使えるような状態にはなっている。 <p>○WGメンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、若者交流施設のソフト面の議論については、伊那弥生ヶ丘将来活用WGやまちなかエリア高度化WGについても同じような議論・課題があることが想定される中で、その辺りをどのように課題設定していこうと思っているのか。 <p>○WGメンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顕在化されているものと潜在化しているものがあると思っている。顕在化されているものよりも、潜在的なニーズを汲み取れないまま進行してしまうことが多いので、そこは注意して進めていきたいと思っている。 ・具体的なテーマは設定できていないが、潜在的な意識の掘り出し、誰に何を聞いて、潜在的なニーズを深掘りしていく。そのためにWGメンバーが深く思考していかなければならないと思っている。 <p>○WGメンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潜在的なニーズを掘り起こしていくことの中で、駅舎の中に公共空間をつくるか、作らないかなど意思決定はどうなっているのか。市の意思決定と市民との対話の場のスケジュールなど、その辺りを整理する必要があるかと思っている。 <p>○WGメンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市からは随時、JRのコミュニケーションでの進捗は共有されている。駅舎についても具体的に詰めるということだったので、進捗に合わせてどこにリソースを割くことが重要なのかを考えている。優良建築物等整備事業の動きは情報としてキャッチアップできているので、今はその課題にフォーカスして、話し合っていこうかみたいなどところが見えている段階。 <p>○市より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良建築物等整備事業において若者交流施設をつくるというのが現在の動き。優良建築物等整備事業は民間で進めていくので、どこまで意見を聞いてもらえるのか、どういう形にするのかは事業者と市で進めていく。駅舎はつくことは決まっている。 <p>○WGメンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・潜在的なニーズの深掘り
--	---	--

<p>参加対象について</p>	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・今住民と一緒に話し始めているということだが、住民だけでいいのか。住民だけではなく、その駅舎を利用する人やそこで何かやってみたいと思う人や色々な可能性があると感じる。大学生なども含めてもっと関わりがあってもいいのではないか。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・まちで暮らしている人が主人公ではあるが、これから起こることに対して、不特定多数の人たちの意見は大事だと思っている。・自分たちでまちづくりをするために近くの事例を見に行ってみようかという1つの動機付けは大事だと思う。・もし、このWGで募集の募るのであれば、全市民に募っていいと思うし、高校生のまちづくりに興味ある高校生にもチャンスを与えていくという意味では、より多くの人々が参画していただいて、我が町を自分たちでつくるという意識で何か活動を始めるということは悪いことではないと思う。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・開かれた場は必要。特定の利害関係者だけではなく。例えば、高校生の居場所を考えたときに、子どもに関する計画や施策は子どもたちに議論させましようなどといった場づくりの工夫ができる。そういった進め方をぜひ詰めていただきたい。	
<p>地元の動きについて</p>	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・地元の動きとすると、今まで計10回ほど山寺区の中で、駅前の再開発や整備について検討する委員会をオリジナルで設けていて、困りごとなどの議論を進めている。・スケジュール的なものが見えていないが、高校の統合の話は進んでいて、焦りがあった。・心配事がある中で、市がどのような関わり方をしてくれるのか、あるいはWGと委員の皆さんがどれほど連携できるのか、2回ほど議論を進めてきた。・その中で、お互い必要な部分を出していく段階になっている。・地元の方々の気持ちが上がらないと基本的にはまちづくりはできないと思っている。高校生は3年間しか通わず、持続的に進めていくには地元の人たちの熱意をどれだけ引き出せるかが一番大事になってくるのではないかとと思っている。	

<p>対話の場について</p>	<p>ことが多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりや再開発という、ハード的な、何か大きなものが動いていくというイメージを持つ人が多い。その中で、今まで地元の中でこう動いてきた人や熱い思いをもっている人ほど、どうして自分に声がかかっていないのか、一生懸命やってきたのにとみたいな声が聞こえてきている。 ・そのため、早めに対話の場を設け、この会の説明として既存の組織と異なり、一から考えていく場所を作っているということ、メンバーも何の得もなくやっているということを市民に分かってもらう必要がある。また気持ちがあるのなら関わってきてほしいという意思を早く出していかないとと思っている。 ・このWGは具体的なところがないので、早めに話をする場を始めたほうが良いと思う。 ・先ほどの話っぱなしになるリスクっていうのは、ケアする必要があるが、それ以上に、市長が人を集めて何をやっているのかみたいな感じは、私たちがやっているのに損しているなというところもあるので、早めにそういった場を作っていければいいと思う。 ・直近としては、流域治水という考え方が、伊那北駅と弥生ヶ丘高校の間をつなぐような、人の流れや自然の流域というか、川や水の流れに何かヒントがあるのではないかと思い、勉強会をする予定になっている。 ・そういった抽象的なところから、地元の人の声に直接向き合うというところまで、両方を掛け合わせて何か出てくるのではないかとと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民からの不安感 →早めに対話の場を設定 ・話っぱなしにならないようにケアしていく。 ・事例のひとつとして、流域治水の勉強会を実施する予定。
<p>課題について</p>	<p>〇WGメンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだまだこのチームは課題抽出の手続きや視点っていうのをかなり丁寧にしていく必要があると思っている。 ・この地域で色々な場所がある中で、どこを市街地としていくか、そしてその中心部と離れた田舎というものを同時にセットで考える必要がある。 ・また、これから行政・流域・治政・行政区っていう 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ課題抽出に時間をかける必要がある

<p>伊那のまちづくりへの興味の声</p>	<p>ものは単に線が引けない。文化圏より大きい経済圏で見たときに、それがどうまちなかと重なるのかというような大きな視点とすごく小さな試験をかみ合わせながら、もう少し課題抽出をしていく段階かなと思う。</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロライブラリーにある企業の方がいらして、まちの動きがある中で、彼らも何社かで伊那で拠点をつくりたいと話していて、色んな自発的な市民の活動が起こっているということも伊那市らしい。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案として今何か決まらなないと決まらなみたいなのがいっぱいあって、複雑なパズルみたいになっていて苦労しているところは皆さん一緒な状態だと思うので、それを可視化しておくことも大事。個々が決まればこれができるのにみたいなところがみんなに共有されるだけでも大きく違うのではないかなと思う。 ・大きなことが決まらなその間にできることとすれば、世の中にある成功例から学んでいくこと。それと、失敗例と成功例とはなんなのかを、inadani sees や allla でやればそれが対話の場になりえると思うし、勉強会であればなんの責任も発生しないので、やりやすいのではないかなと思う。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで話すときの難しさは色々なレベルであるが、特に新しい学びがあったときに体感して学んだ上で本当にそれが必要なのか染みる時間は話し合いの場では生まれないので難しい。そういった点で、対話の前に学びを入れるということは非常に重要なことだと思う。 ・私たちがやっているのは、その学びを学ぶということで、子どもの学びが変わり親のマインドセットがその学びの中から染み出てくるのかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を可視化して、共有すること ・ 失敗例や成功例からの学び ・ まちの動き 月イチ「学び」を学ぶ。 任意団体ネイバーシップ
<p>4、事務局より連絡</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロードマップ案についての説明。 ・ 伊那市ブランディング事業について説明 	

5、今度の進め方について		
<p>今後のキックオフイベントの進め方について</p>	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊那北駅周辺再生WG 伊那北駅の駅舎及び周辺施設の在り方について語る会として、このテーマに関わる情報提供やこれからの対話やご意見をお聞きする場を設定していく。 ・伊那弥生ヶ丘高校将来活用WG 広く学びの新しい当たり前を考えようというようなことで、勉強会を含め情報提供と市民の対話の場からまずは始める。 ・まちなかエリア高度化WG 旧来の事業者さんや商店主さんたちとこれまでとこれからを重ね合わせるような対話の場を色々なプレイヤーを集めて実施する。 対象者は中心市街地だけではなくて、新しく何かしようとしている人たち（他地域を含め）そんな対話の場をつくる。 	
<p>全体としての見せ方</p>	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、新しいまちづくりデザイン会議など名前を付けて実施する。同じ名前で色々な対話の場が派生するように名前を付けて、それぞれ一体感をもって進められるようにするのはどうか・ 	
<p>キックオフイベントのグラウンドルールや主体の参画の仕組みについて</p>	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話の場を始める前に、会の作法や設え、情報提供ってどこまで話せるのかと、それを誰が決められるのか。 ・主体が見つかった場合、参画の仕組みをどうつくて誰が決めるのかなど前提として検討していく必要があるものがある。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドルールの設定は必要。（WG ごとで設定） ・いくつかの項目を情報提供した上で、議論をはじめられるようにつくることは必要。 ・参加いただく方の範囲については、広報だけでは届かない場合もあるので、WGメンバーが誘ってきたりする必要もある。 ・主体の参画については、WGによって異なるため、 	<ul style="list-style-type: none"> ・キックオフイベントの進め方や告知方法など事務局でたたき台を作成。

	<p>き、より多くの人やもっと発言する人がたくさんいるような会をしていきたい。</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・キックオフのタイミングで情報提供できる部分はおしみなく出せていけたらよいと思う。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・まだまだ議論や決めなければならないことがあると思うので、Slack で議論するなど引き続き続けてほしい。	
5、WG 別 MTG へ移行		
6、今後のスケジュール		
・次回の日程	<ul style="list-style-type: none">・12月24日(火) 18:00-20:00 WG 全体会@伊那市役所多目的ホール・1月21日(火) 18:00-20:00 伊那市生涯学習センター/いなっせ 6F ニシザワいなっせホール・ホワイエ	